みなさん、こんにちは

伊丹教会の赤石めぐみです

お話動画、見てくれたかな？まだ見ていない人、どのくらいいますか？

（見ていない人が多ければ）では、もう見た人も一緒に見てみましょう。

（だいたい見てくれていれば）

では、もう一度、お友達のみんなに読んでもらった聖書朗読を聞いてみましょう。

このお話、聞いたことありましたか？

きのうまでずーっと雨が降り続いていて、風もビュービューふいていて、「近くの川の水があふれたらこわいな」「風がビュービューふいてこわいな」と思ったかもしれません。

湖の上で嵐にあったお弟子さんたちも同じ気持ちでした。おぼれたら大変なので、助かりたい、と思って、お弟子さんたちは、自分たちでなんとかしようといっしょうけんめい。

イエスさまのことはちょっとわすれてしまっていたみたいでした。

もう自分たちの力では助からない！と思ったときに、やっとイエスさまに「助けてください」と叫びました。イエスさまは「なぜこわがるのか。信仰の薄いものたちよ」とおっしゃいました。

「信仰が薄い」とはどういうことかな？

お話動画の中でも言いましたが、「信仰が薄い」というのは、イエスさまがいつも一緒にいてくださる、ということを忘れてしまっていることです。

わたしたちは、何か大変なことが起こると、こころと頭がいっぱいになって、パニックみたいになってしまって、イエスさまのことを忘れてしまいがちです。

私たちには見えないけれど、「イエスさまがいつも一緒にいてくださる」と信じること、

イエスさまがいつも一緒にいてくださることを忘れないこと、これが信仰です。

イエスさまは、風と波をしかって静めることができます。これは父なる神さまと同じ力をお持ちだということです。こわいことがおこって、私たちが心細くなってしまうとき、私たちの心が折れてしまわないように、必ず助けてくださいます。神さまにしかできないような強くて、不思議な力で必ず助けてくださいます。

そういうイエスさまがいつも私たちと一緒にいてくださる、ということを忘れないこと。

これが信仰です。

工作をしましたか？

船の中におもりを入れてもらいました。おもりがないと、ガムテープの芯はコロコロとどこまでも転がっていってしまいます。でも、おもりがあると、うんと力いっぱい揺らしても必ず元の位置に戻ります。このおもりは、みんながイエスさまのことを忘れないでいること、見えないイエスさまのことを信じる信仰をしっかり持っているということと同じです。この信仰がないと、私たちはみんな、揺さぶられたときにどんどん転がっていってしまいます。でも信仰のおもりがちゃんとあれば、私たちは揺さぶられても、ちゃんと元の位置から動かされないでしっかり立つことができます。

さんびでうたったように「何が起こっても、イエスさまがいつも一緒さ！」ということを忘れないでいてください。

お祈りします。